

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： 先端融合医療レドックスナビ研究連合拠点

代表者名： 梶山 千里

所属機関名： 九州大学

コメント

本提案は、医療・製薬・工学の融合領域として、概ね 10 年～15 年後にレドックスナビゲーションに関するイノベーションを起こし、革新的な技術開発並びに新産業の創出などが期待されるものと評価された。

しかしながら、委員からは、以下のようなコメントが寄せられている。

- ・ 4 つのユニット（工が 1、医が 2、薬が 1）に分けるため、1 ユニット当たりの研究費は小規模なものとなり、研究遂行の可能性が懸念される。46 人の教員が参加するというのは、多人数過ぎる。

- ・ 異分野融合、大学連合も含め、スペクトルが広すぎ、明確なゴール、ターゲットが見えない。

運営管理も懸念される。

- ・ レドックスが Reduction と Oxidation を mix したものであるため「電位」が最も大事な測定ファクターであるが、その値が出てこない点が信憑性を低めている。

上述の観点も含め、1 年目はミッションステートメントの実現可能性についてさらに調査・検討することとし、その結果を踏まえ、拠点化構想等（企業との協同体制を含む）の改善を行うこと。